

◆ 会長メッセージ

平成25年度が始まりました。6日の評議員会で、24年度事業報告と決算を報告しました。当初赤字予算を組んでいましたが、みなさんのご協力のお陰で、18,000円余りの黒字となりました。また、25年度の事業計画と予算も承認されました。

今年度から新たに生駒支部が誕生しました。連盟の発展には、組織の拡充、会員の増加が必修です。新しい支部の発展に、皆さんの援助をよろしくお願いいたします。

なお、この機会に、連盟として、各支部の規程、役員等を把握・整理していきたいと思っています。ご協力をよろしくお願いいたします。

奈良県弓道連盟会長 吉本清信

◆ 第2回奈良市武道教室演武会

一般財団法人奈良市総合財団の主催により、平成25年3月30日(土)奈良市中央武道場において、標記演武会が行われました。弓道、柔道、剣道、槍、なぎなたの各武道教室が参加しました。

演武の一番初めは弓道です。今回は、3人立の立射礼を行いました。

最初の演武者は、金本恭子さん・峯川真由美さん・土谷ひろみさんの女性3人、続いて中山誠一郎さん・松井勲さん・武宮誠さんの男性3人です。

入場と同時に静まりかえった会場では、明瀬理事長による解説が始まり、厳かな雰囲気の中、弦音が響き、的中するたびに観客から大きな拍手が起きました。3人の呼吸も合い、すばらしい演武になりました。これからも毎年行われると聞いており、弓道教室においても一つの目標にしていきたいと思っています。

今回の演武会は、ケーブルテレビ KCN の収録もされ、この様子は下記の予定で放映されますので、ご覧ください。

KCN エリアワイド 4月29日(月) 夕方4時～
再放送は、 4月29日(月) 深夜12時～
4月30日(火) 夕方4時～
・深夜12時～
5月1日(水) 夕方4時～
・深夜12時～
5月5日(日) 昼1時～



(深田 紀美子)

◆ 公益財団法人全日本弓道連盟 臨時評議員会報告

4月4日 東京 中央道場にて、臨時評議員会が開催されました。昨年3月に発足した運営推進委員会から11月7日に答申が出され、11月28日の全国地連会長会議で提案されました。しかし、異論が続出し、あらためて諮問委員会が設置され、今回、改革大綱案として、まとめられました。それをもとに、6月に開催予定の定時評議員会の役員改選に向けて、決めておかねばならないことがあり臨時評議員会が招集されました。

まず、会長挨拶で改革大綱案にかける並々ならぬ決意を述べられて、会議が始まりました。

公益法人化のもと、改革大綱案として「急を要する課題」(組織・財政)と「順次検討を進めるべき課題」(審査、競技、指導・講習、啓発・普及、広報、国際)とに分けて、提案。

決まったことの要点を報告します。

◎組織：

- ・専務理事の新設と業務執行理事の1名増員。
- ・理事選任規則の制定。(評議員による理事選考委員会を設置)
- ・役員77才定年制。(正副会長は4期8年まで)
- ・部会設置(企画・事業・指導・振興各部会)

◎財政：

法人会計の赤字解消のため、加盟団体分担金の増額を決定(従来の算定方法に加えて、26年度より登録会員数に応じて分担金を算出する)

◎その他：

世界大会選手選考会を来年3月に東京で実施

(文責 吉本清信)

◆ 連合審査結果

3月31日 兵庫県 川西市弓道場にて

五段合格者

丹羽 秀聡 (奈良)
原田 祐介 (橿原)
中野 順平 (橿原)

おめでとうございます。

◆ 第10回 全国高等専門学校選抜弓道大会で

奈良高専が優勝

H25年3月15日に長野運動公園総合運動場弓道場において行われた標記大会において、奈良高専が団体戦優勝、個人戦優勝および準優勝を飾りましたのでここに報告させていただきます。本大会は今から10年前、高専における弓道の普及・振興を図ることを目的として全国の高専弓道部顧問教員有志が立ち上げた非公式の大会です。第1回大会は参加7高専というまったくの手探りで始まりましたが、第4回大会より全弓連よりのご後援をいただくなど、回を重ねるごとに発展し、10回目の節目となった今回大会では15高専の選手が一堂に会しての盛大な大会となりました。その中で奈良高専は団体戦42中/60射で優勝し、個人戦では、4年生の日置拓也選手と、卒業式を四日後に控えた5年生の嶋岡紘志選手が共に10中/12射で優勝決定射詰め競技に進み、日置選手が優勝、嶋岡選手が準優勝となりました。加えて、大会中、長野県弓道連盟の先生方の審判の下、射技、体配ともに最も優れた学校に授与される「射道優秀校」の栄誉をいただくことができました。高専弓道部のみの、地区予選もない内輪の大会ではありますが、これらの結果は、本校弓道部活動に対する奈弓連、高体連弓道部顧問の先生方、本校所在地の大和郡山市弓道協会の先生方、ご各位の日頃よりのご高配と懇切なるご指導なしには到底達成できないものであり、部員の大きな励みとすることができました。この場をお借りして、部員・顧問教員一同、深く感謝申し上げます。

教育機関における充実した課外活動の実現が、学生が社会性や協調性を体得する手段として大きな教育の柱となることは言うまでもありません。高専弓道部活動において、弓道の精神性の追求は、日々の実習・実験レポートに代表される過密なスケジュールで実施される学業との両立をしっかりと図る集中力、忍耐力、計画力を育むことにつながるとともに、その成果を披露しあう高専大会などの競技への参加を通じ、5年間の高専生活において学生が自ら成長し自律するための様々な示唆を与えてくれるものであります。このような認識の下、本大会を全国高専弓道大会として正式に実施すべく、来年H26年度よりその実施時期を8月に移し、7月に地区予選会を行うことで、全国高専における弓道部活動の振興を図ることとなっております。その予選会の突破、ならびに再度の全国優勝と射道優秀校の獲得に向けて、今後も稽古に励んでいく所存です。

(奈良高専弓道部顧問 谷口幸典)

◆ 平成25年 お城まつり弓道大会

4月7日(日)、やまと郡山城ホール武道場において「平成25年お城まつり弓道大会」が開催されました。吉本先生、西浦先生、阪中先生のご指導・ご協力のもと、県下の愛弓家104名の参加を得て、採点制による競技を実施しました。

最終成績及び表彰者は以下の通りです。

○参段以下の部

	氏名	一次予選	二次予選	決勝	所属
優勝	西村知浩	310点	314点	305点	天理大学
二位	岡本拓巳	300点	303点	300点	奈良高専
三位	檜尾 涼	303点	298点	297点	天理大学

○四段以上の部

	氏名	一次予選	二次予選	決勝	所属
優勝	佐藤 峻	308点	309点	305点	郡山
二位	赤松順次	294点	299点	299点	郡山
三位	小林宏樹	288点	295点	291点	郡山

ご参加いただいた皆様のおかげで、本年の大会も盛会裏に終えることができました。本当にありがとうございました。

(大和郡山市弓道協会小林宏樹)

◆ 第10回 総合選手権大会 速報

4月14日 橿原公苑弓道場 参加者 男子47人 女子42人
成年男子の部：

一位：山口亮二、二位：長濱正伸、三位：新子修平
成年女子の部：

一位：林秀子、二位：東中千佳、三位：西田ゆり子

選考結果：

全日本遠的選手権大会

男子：原田祐介、山本元祥

女子：白井礼子、東中千佳

国体強化選手

男子：新子修平、井戸上博一、奥田章人、辻本元威、
原田祐介、山口亮二

女子：奥戸由美、小野温美、白井礼子、林秀子、
東中千佳、平井摂子、松澤和実、松村由喜子

◆ 第9回 中日本高等学校弓道大会

H25.3.23～24の間、岐阜市長良川弓道場において標記大会が、北信越、東海、近畿の各地区代表男子32、女子34チームが参加し、開催されました。

本県からは高田商業の男女、西の京男子、郡山女子が代表として参加しました。

結果は西の京男子がトーナメントで第5位、郡山女子が的中制で8位に入賞しました。

以下は入賞選手からのコメントです。

【西の京高(男子)】

久次米 陸(大前)： 賞をとることができて非常にうれしく思います。しかし、僕たちにはまだ直さなくてはいけないところがたくさんあります。もう一度しっかり考え直し、これからの練習に生かしていきたいです。

峯川 昇二(2的)： 中日本大会に出場したことで、とても成長できたと思います。例えば、様々な学校の射形などを見ることで自分に足りないものが何かを知ることができました。なのでとてもいい経験になりました。

伊地知 滉人(3的)： 中日本大会を振り返って、もう少しチームのための的中を出せば良かったと思いました。しかし、他府県のチームの射形や試合への入り方を見ることで、いい経験になってよかったです。

(右上に続く)

仲谷 雄吾(4的)： 僕にとって中日本大会は初めて出場した県外の大会で、いままで体験したこともない空気に緊張しました。そして思い通りの射ができず、チームの足を引っ張ってしまい、自分の技術と精神の未熟さを痛感しました。

中岡 稜(落)： 中日本大会では、自分が今まで練習してきたことを生かせることができました。しかし、それ以上に課題もたくさん見つかった試合でした。この経験を今後出場する大会に生かしていきたいです。

【郡山高(女子)】

田中 里佳(大前)： 中日本大会という大舞台にたつことは、自分の人生においてとても良い経験となりました。この経験をいかし、さらなる向上を目指したいと思います。

松本 彩花(2的)： 他校の選手からたくさんのことを学びとることができました。これからの試合に生かしたいです。応援ありがとうございました。

中島 倫香(3的)： 緊張や不安でいっぱいでしたが、先輩方の支えもあり、普段通りに試合に臨むことができました。貴重な体験が出来てよかったです。

藤田 真奈(4的)： 自分の力を最大限に発揮できず、後悔が残る試合でした未熟さを痛感したので、この悔しさをバネにこれからも精進していきます。

岡本 美奈(落)： 自分のいつも通りの的中が出ず、自分の中では反省点が多く残る試合となってしまいました。次の試合で同じことにならないように、この試合で学んだことを生かし、練習に励みたいと思います。

(高体連)

◆平成25年度評議員会

(議事録より抜粋)

平成25年4月6日 18:00から、本年度の評議員会が改築された樫原公苑会議室で開催され、吉本会長をはじめとする本部役員、理事、監査および評議員45名が集いました。審議内容は、(1)平成24年度事業報告、決算報告、監査報告[・事業の概要・期首予算では197,600円の赤字見込みが、決算実績では18,735円となったこと・特別会計の定期利息は満期時に計上すること等の報告]があり、承認された。

(2)平成25年度の事業計画、予算案の提示[・新規加盟団体として生駒支部が誕生・県弓道教室の独立・職域等の中に教職員支部を編入・理事の変更(香芝地区:土谷尚敬(教職員も兼務)、事業所等:井上敦央(これに伴い評議員に伊坂隆行)、学校関係理事:天理大学)・新監事に赤松順次(これに伴い評議員に大西洋亮)・中央審査、連合審査の申込(県内締め切りの変更と支部取りまとめによる申込の徹底について)・地連審査の申込用紙について(25年度より全弓連HPよりダウンロードする申込用紙を使用)・女子大会の廃止・総合選手権からねりんピック予選が独立し、健康長寿の弓道大会兼ねりんピック県予選会として5/18(土)に実施・慶弔費の玉串料については大和神社のみ・特別会計(近畿ブロック大会で遠的会場の射場に仮設テントを設営するための補助金が下回った場合に、20万円を目途に特別会計より支出)等の提案]、承認される。(3)その他・H25年度会員登録について・H27年度インターハイについて

◆事務局から

- ・6/22～23 近畿ブロック大会にむけて安土整備(樫原) ・8/18 国体近畿ブロック大会を樫原で開催
- ・9/16 近畿連合審査を樫原で開催の予定

是非成功裏に終えたく各位の力をお願いします